

青い森しんきん

とんとん 情報

No.485

2023

5月

青い森しんきん
経済レポート

特別調査 P2

「中小企業における
デジタル化への対応について」

景況レポート P3

2023年1月～3月期の現況と
2023年4月～6月期の予想

主要経済指標 P12

青森県、八戸市、青森市、
弘前市、十和田市、むつ市

青森県立保健大学

地域活動リポート P20

「大学院で学んでみませんか！」



五所川原市 芦野公園

地元の 名産・商品 製品・技術 紹介コーナー P21、22

八戸地区、青森地区、十和田地区、弘前津軽地区、下北地区

金融リサーチ

内外金利・為替見通し (2023年5月2日)

海外金利環境：金融不安を受けて、複数のFOMC参加者が3月の利上げ見送りを検討

米国：FRBが4月12日に公表した3月21日～22日開催のFOMC議事要旨では、金融システム不安の高まりを受けて、複数の参加者が利上げの見送りを検討していたことが分かった。参加者からは、銀行が融資に慎重になることで「総需要を圧迫し、インフレ圧力の軽減につながる可能性がある」との発言もあったものの、その影響度合いは不明確だとの見方で一致したため、3月は従前の予想通り0.25ポイントの利上げとなった。現時点ではあと2回の利上げ（計0.50ポイント）を見込んでいる。

ユーロ：ECBが4月20日に公表した3月15日～16日開催の理事会議事要旨では、FOMCと同じく一部メンバーから金融不安が落ち着くまで利上げを見送るべきとの意見が出ていたことが分かった。クレディ・スイス・グループの経営不安が高まった直後であり、「不完全な情報をもとに決定しなければならない」といった懸念が示されたものの、最終的にはインフレ抑制を優先し事前予告通り0.50ポイントの利上げ幅となった。次回5月理事会でも利上げが継続される可能性は高い。

国内金利環境：植田日銀新体制は現状の大規模緩和を継続。過去の金融緩和策を検証へ

日銀は、植田新体制で初となる金融政策決定会合で、現状のYCC（長短金利操作）を軸とした大規模金融緩和の維持を決定した。また、過去25年間の金融緩和策のレビューを1年から1年半程度かけて実施することを決めた。4月会合の決定を受けて早期の政策修正観測が後退しており、米長期金利も景気先行き懸念から上昇は限られると見込まれることから、長期金利は0.3%台後半から0.4%台で推移しよう。

為替相場：日銀の金融緩和継続などを受けて、円安・ドル高が急激に進む

4月は、堅調な米国経済指標やFRB高官のタカ派発言で米金融引締めが続くと見方が広がったことに加え、日銀の金融政策据置きなども材料視されて円安が進んだ。もっとも、今後は金融当局等の積極的な対応によって金融不安が抑え込まれていることから、徐々に米国の利上げ打止めが意識され始め、日米金利差の縮小観測の高まりを背景に緩やかな円高が進むとみている。

◇予測一覧表（5月2日現在）

		2023年4月28日	5-6月	7-9月	10-12月	2024年1-3月
米国	FFレート（誘導目標・期末）	4.75-5.00	5.25-5.50	5.25-5.50	5.25-5.50	5.00-5.25
	国債（5年）	3.485	3.30-4.00	3.20-3.90	3.10-3.80	3.00-3.70
	国債（10年）	3.425	3.20-3.90	3.10-3.80	3.00-3.70	2.90-3.60
	NYダウ平均（ドル）	34098.16	30500-35500	31500-36500	32000-37000	32500-37500
ユーロ圏	市場介入金利（期末）	3.50	4.00	4.00	4.00	3.75
	中銀預金金利（期末）	3.00	3.50	3.50	3.50	3.25
	国債（ドイツ10年債）	2.313	1.90-2.60	1.80-2.50	1.70-2.40	1.60-2.30
	DAX指数	15922.38	14000-17000	14500-17500	14700-17700	14900-17900
日本	無担保コール翌日物	△0.073	△0.10-0.00	△0.10-0.00	△0.10-0.00	△0.10-0.00
	TIBOR（3カ月）	△0.036	△0.10-0.10	△0.10-0.10	△0.10-0.10	△0.10-0.10
	中期国債（新発5年債）	0.100	0.05-0.30	0.10-0.30	0.10-0.30	0.10-0.30
	長期国債（新発10年債）	0.385	0.25-0.50	0.25-0.50	0.25-0.50	0.25-0.50
	超長期国債（新発20年債）	0.990	0.80-1.50	1.00-1.50	1.00-1.50	1.00-1.50
	日経平均株価（円）	28856.44	26000-30000	26500-30500	26800-30800	27100-31100
為替	円/ドルレート	135.74	129-140	128-139	127-138	125-136
	円/ユーロレート	149.43	142-153	141-152	140-151	138-149

トピックス
topics

旧五戸支店を五戸町へ寄贈しました。

青い森信用金庫は、創立100周年記念地域貢献活動の一環として、地域活性化に向けて有効にご活用いただくべく、五戸町上町にある旧五戸支店の土地と建物を、2023年3月30日（木曜日）に五戸町へ寄贈いたしました。

旧五戸支店は、1963年11月12日に開設され、半世紀以上にわたり地域の皆様にご愛顧いただきましたが、当金庫の店舗統合計画に則り、2021年11月15日をもって八戸駅通支店に統合いたしました。今回寄贈した旧五戸支店の建物は、1971年8月に新築されたものです。

青い森信用金庫は、地域活性化の一助となれるよう、これからも様々な取り組みを実施して参ります。

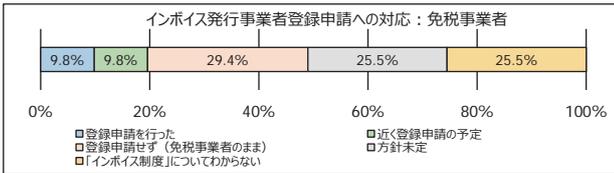
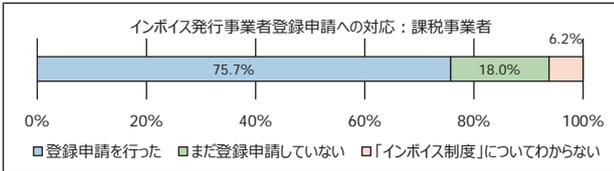


五戸町役場で目録を贈呈する益子理事長と若宮佳一・五戸町長(右)

「中小企業におけるデジタル化への対応について」

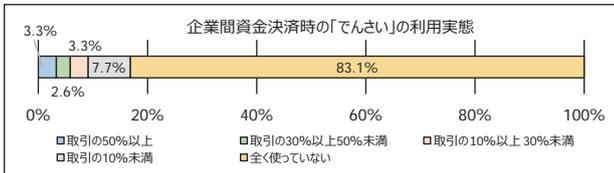
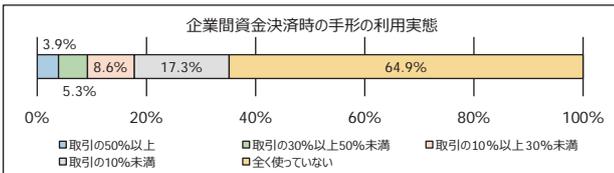
調査時点 2023年3月
(対象951社・回収909社 回答率95.6%)

1 インボイス発行事業者登録申請への対応



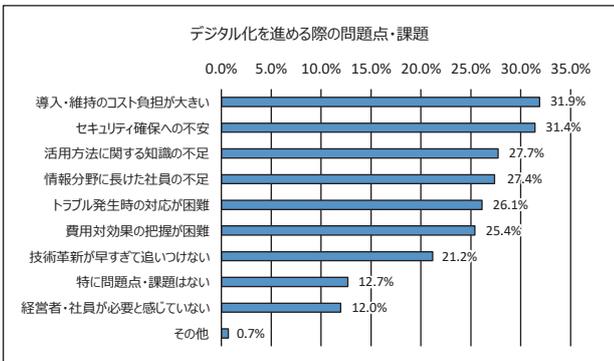
- インボイス発行事業者登録申請済みの企業は、課税事業者の75.7%、免税事業者の9.8%。
- インボイス制度について「わからない」とする企業は、課税事業者の6.2%、免税事業者の25.5%。

3 企業間資金決済時の手形・「でんさい」の利用実態



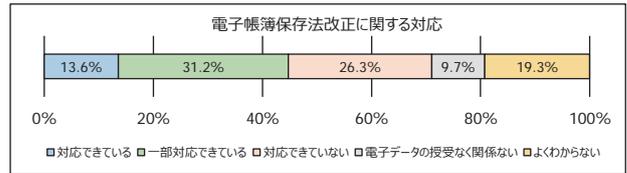
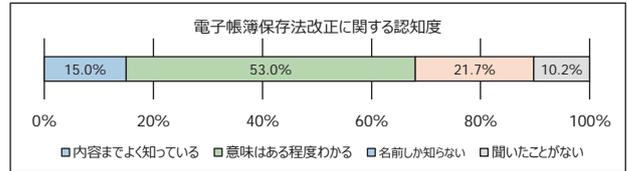
- 企業間資金決済時の手形の利用率(取引の10%未満～50%以上)は35.1%、「でんさい(電子記録債権)」の利用率は16.9%。

5 デジタル化を進める際の問題点・課題



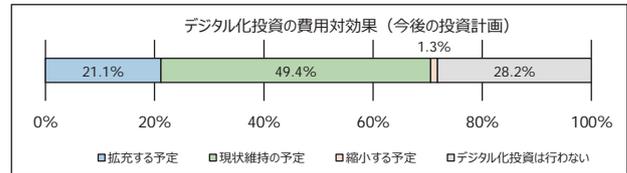
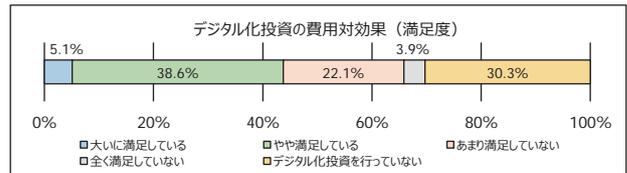
- デジタル化を進める際の問題点・課題として最も多かったのは「導入・維持のコスト負担が大きい」で、31.9%。
- 以下、「セキュリティ確保への不安」(31.4%)、「活用方法に関する知識の不足」(27.7%)、「情報分野に長けた社員の不足」(27.4%)などが挙げられる。

2 電子帳簿保存法改正に関する認知度・対応



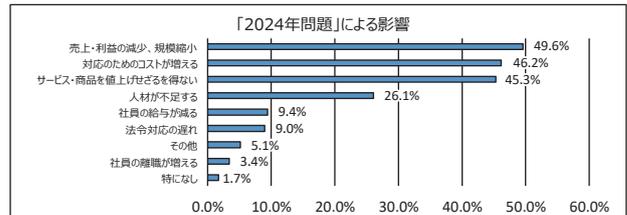
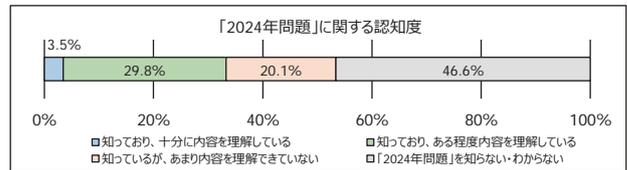
- 電子帳簿保存法改正に関する認知度(内容までよく知っている・意味はある程度わかる)は68.0%。
- 電子帳簿保存法改正に対応できているとする企業は13.6%。対応できていないとする企業は26.3%。

4 デジタル化投資の費用対効果(満足度・今後の投資計画)



- デジタル化投資について、満足している(大いに満足・やや満足)企業は43.7%、満足していない(あまり満足していない・全く満足していない)企業は26.0%。デジタル化投資を行っていない企業も30.3%みられる。
- 今後デジタル化投資を拡充とする企業は21.1%。他方、デジタル化投資を行わないとする企業も28.2%みられる。

6 「2024年問題」に関する認知度・影響



- 「2024年問題」に関する認知度(知っており、十分に理解～知っているが、あまり内容を理解できていない)53.4%。「知らない・わからない」は46.6%。
- 「2024年問題」による影響として「売上・利益の減少・規模縮小」が最も多く49.6%。次いで「対応のためのコスト増」(46.2%)、「サービス・商品を値上げせざるを得ない」(45.3%)、「人材が不足する」(26.1%)などが挙げられる。

売上高DIは全体で9.3%ダウンの▲15.0 5業種・4地区で減少 来期は増加の見通し

<今期>

2023年1～3月期の県内中小企業の景気動向調査（調査回答企業909社）の結果、売上高DI（増加企業割合－減少企業割合）は、前期調査（2022年10～12月期）から9.3%ダウンの▲15.0となり3期連続して増加した前期から減少に転じた。前期調査における1～3月期予想は18.9%ダウンの▲24.6だったが、今期実績は前期の減少予想幅を下回ったものの減少となった。業種別では、横ばいだった不動産業を除く5業種で減少。売上高DIが高い順に、卸売業▲12.5（前期比18.8%ダウン）、サービス業▲12.7（同3.4%ダウン）、小売業▲13.7（同0.9%ダウン）。不動産業は横ばい、小売業、サービス業で減少幅が小さい。地区別では下北地区を除く4地区で減少した。売上高DIが高い順に、八戸地区▲7.9（前期比10.2%ダウン）、青森地区▲17.9（同19.0%ダウン）、津軽地区▲18.2（同13.7%ダウン）、上十三地区▲18.9（同3.3%ダウン）だった。上十三地区で減少幅が小さかった。

設備投資実施割合：設備投資実施割合は、全体で前期比1.0%アップの23.6%で、実施企業数は、有効回答企業795社中188社だった。業種別では、建設業が最も実施割合が高く32.8%で前期比4.5%アップとなった。次いで卸売業25.0%（前期比8.3%ダウン）、サービス業24.0%（同3.3%アップ）、製造業20.2%（同2.8%アップ）となった。小売業は、業種別で最も低い15.8%で前期比2.2%ダウンだった。

地区別でみると八戸地区の実施割合が最も高く31.3%で前期から2.9%アップした。次いで、青森地区が28.1%（前期比0.6%アップ）、上十三地区の19.1%（同2.0%アップ）と続く。津軽地区は上十三地区に次いで15.8%だったが、唯一前期比減となり4.5%ダウンとなった。

経営上の問題点（複数回答）：経営上の問題点（複数回答）として挙げられているのは、前期同様「売上停滞減少」が最も多く、全体の44.7%（前期45.0%）だった。次いで「人手不足」が34.0%（同32.8%）、「原材料価格上昇」が33.2%（同33.2%）、「利幅縮小」23.7%（同20.9%）、「同業者との競争激化」が17.3%（同16.5%）の順となっている。「問題なし」とする企業は、全体の2.2%（同1.6%）だった。

「売上停滞減少」は、卸売業が51.3%（前期46.8%）、小売業が50.6%（同56.6%）だった。「人手不足」は、建設業が51.3%（同52.9%）、「原材料価格上昇」は、製造業が最も多く63.2%（同65.9%）で、建設業においても59.8%（同63.1%）と経営上の課題として第一位となっている。

<来期>

来期（2023年4～6月期）の売上高DIの予想は、今期より2.2%アップの▲12.8と増加を予想。業種別では6.5%ダウンの▲20.2と減少を予想する小売業と▲12.7と横ばいのサービス業を除く4業種で増加が予想されている。卸売業が10.0%アップの▲2.5、建設業が8.4%アップの▲7.5、製造業が3.9%アップの▲12.0、不動産業が8.1%アップの▲24.3となっている。地区別でみると、下北地区が7.2%ダウンの▲26.8、八戸地区が3.1%ダウンの▲11.0と予想されているが、上十三地区は9.4%アップの▲9.5、津軽地区が8.1%アップの▲10.1、青森地区が4.2%アップの▲13.7と予想されている。

2023年1～3月期は、特に後半において新型コロナウイルス感染第8波による感染者数が減少したものの、エネルギー価格や原材料価格は高止まり状態が続き、また継続的な食料品や日用品の値上げによる個人消費の弱まり等から、県内企業全体での売上高DIも前期を下回る結果となった。

来期の設備投資予定割合は、全体で今期比4.1%ダウンの19.5%の実施割合を予定。業種別では、製造業・卸売業・小売業・建設業・サービス業の全業種で減少。建設業において7.3%ダウンの25.5%の実施を予定。次いで、サービス業が21.4%（今期比2.6%ダウン）、卸売業が18.4%（同6.6%ダウン）、製造業が18.3%（同1.9%ダウン）を予定している。小売業は13.1%（同2.7%ダウン）を予定。

（前年同期比売上高DIの動向）

業種別

	全業種	製造業	卸売業	小売業	建設業	サービス業	不動産業
2022年10～12月期	▲5.7 ↗	2.3 ↗	6.3 ↗	▲12.8 ↗	0.9 ↗	▲9.3 ↗	▲32.4 ↗
前期比	8.2	7.0	21.1	0.9	19.2	2.3	0.9
2023年1～3月期	▲15.0 ↘	▲15.9 ↘	▲12.5 ↘	▲13.7 ↘	▲15.9 ↘	▲12.7 ↘	▲32.4 →
前期比	-9.3	-18.2	-18.8	-0.9	-16.8	-3.4	0.0
2023年4～6月期	▲12.8 ↗	▲12.0 ↗	▲2.5 ↗	▲20.2 ↘	▲7.5 ↗	▲12.7 →	▲24.3 ↗
今期比	2.2	3.9	10.0	-6.5	8.4	0.0	8.1

地区別

	全体	八戸地区	青森地区	上十三地区	津軽地区	下北地区
2022年10～12月期	▲5.7 ↗	2.3 ↗	1.1 ↗	▲15.6 ↗	▲4.5 ↗	▲25.7 ↘
前期比	8.2	14.9	13.0	5.7	12.1	-18.8
2023年1～3月期	▲15.0 ↘	▲7.9 ↘	▲17.9 ↘	▲18.9 ↘	▲18.2 ↘	▲19.6 ↗
前期比	-9.3	-10.2	-19.0	-3.3	-13.7	6.1
2023年4～6月期	▲12.8 ↗	▲11.0 ↘	▲13.7 ↗	▲9.5 ↗	▲10.1 ↗	▲26.8 ↘
今期比	2.2	-3.1	4.2	9.4	8.1	-7.2

地区別 (売上前年同期比D I・%)

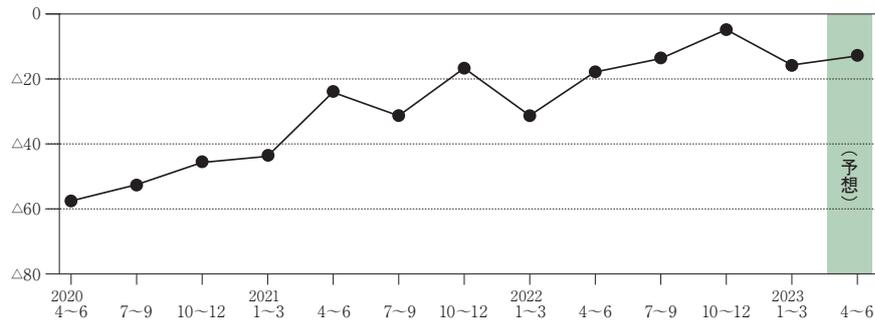
期	全地区	八戸	青森	上十三	津軽	下北
2020 4~6	△58.2	△53.8	△56.9	△70.7	△62.0	△49.2
7~9	△52.3	△52.7	△44.9	△58.5	△50.0	△57.4
10~12	△45.0	△41.0	△43.6	△54.1	△44.4	△45.9
2021 1~3	△42.7	△42.2	△39.0	△55.2	△33.9	△45.1
4~6	△23.0	△12.2	△26.1	△33.5	△25.6	△27.5
7~9	△31.5	△32.2	△25.7	△43.5	△25.1	△31.1
10~12	△17.6	△10.2	△20.6	△34.3	△20.1	△4.2
2022 1~3	△31.4	△25.7	△32.2	△46.4	△32.5	△21.9
4~6	△18.6	△14.1	△14.6	△31.3	△19.7	△17.3
7~9	△13.9	△12.6	△11.9	△21.3	△16.6	△6.9
10~12	△5.7	2.3	1.1	△15.6	△4.5	△25.7
2023 1~3	△15.0	△7.9	△17.9	△18.9	△18.2	△19.6
4~6	(△12.8)	(△11.0)	(△13.7)	(△9.5)	(△10.1)	(△26.8)

D I = (増加企業割合 - 減少企業割合) % () は予想数値

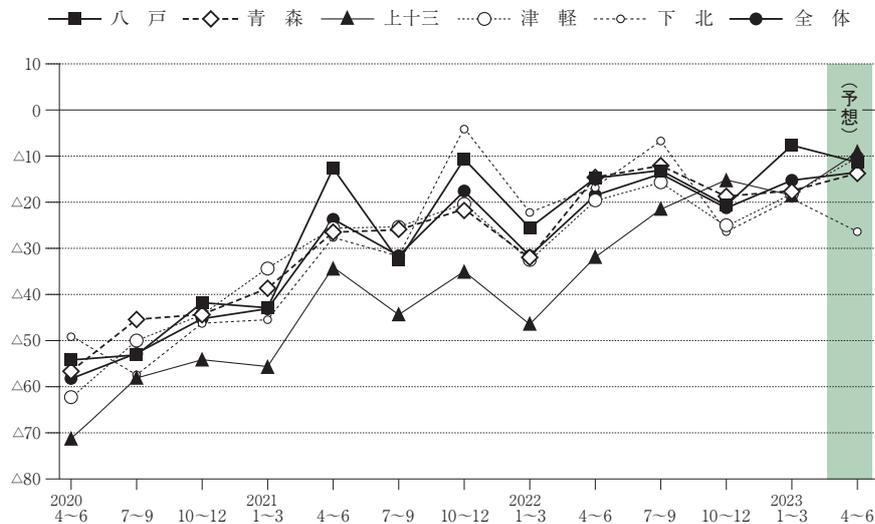
調査要綱

調査時点 2023年3月1日～3月31日
 調査方法 調査担当者による聞き取り調査・アンケート調査
 調査時期 2023年1月～3月期の現況と2023年4月～6月期の見通し
 調査対象企業 青森県内中小企業 951社
 回答企業 909社 (回答率 95.6%)
 内訳 製造業 127社 卸売業 80社
 小売業 235社 建設業 226社
 サービス業 204社 不動産業 37社

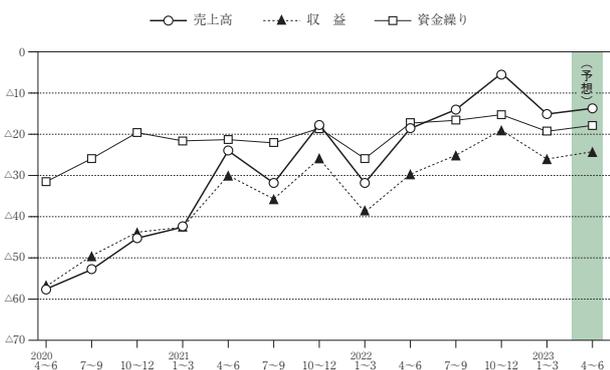
売上D Iの推移 (全体)



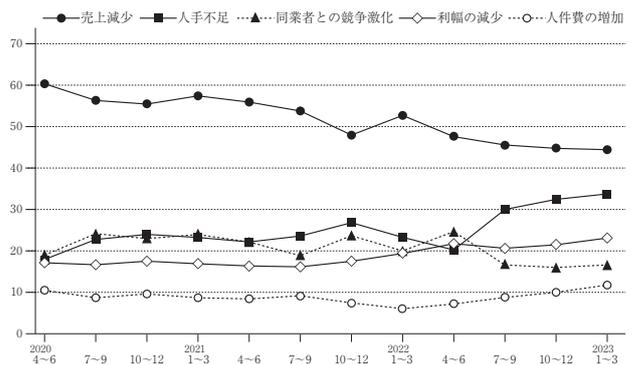
売上D Iの推移 (地区別)



売上高・収益・資金繰りD Iの推移



経営上の問題点に占める割合



製造業



経営上の問題点 (%)

順位	2022年				2023年
	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月
1位	原材料高 57.8	原材料高 70.9	原材料高 58.9	原材料高 65.9	原材料高 63.2
2位	売上減 55.5	売上減 48.0	売上減 48.8	売上減 47.3	売上減 49.6
3位	仕入先からの値上要請 21.9	人手不足 24.4	人手不足 23.3	人手不足 26.4	人手不足 32.0
4位	利幅の縮小 21.1	仕入先からの値上要請 22.8	仕入先からの値上要請 22.5	利幅の縮小 23.3	利幅の縮小 22.4
5位	人手不足 20.3	利幅の縮小 18.9	人件費以外の経費増加 17.1	人件費以外の経費増加 17.1	仕入先からの値上要請 17.6

(数字は有効回答数に占める割合)

製造業 前期増加から減少 来期は増加を予想

製造業の今期の売上高DIは、前期比18.2ポイントダウンの▲15.9と、3期連続して増加した前期から減少に転じた。4.3ポイントアップの▲13.3だった下北地区を除く4地区で減少した。津軽地区が5.9ポイントダウンの▲5.9、八戸地区が20.1ポイントダウンの▲15.0、上十三地区が40.2ポイントダウンの▲23.5と2地区それぞれでプラスからマイナスに転じた。青森地区は23.5ポイントダウンの▲23.5だった。

来期は全体で3.9ポイントアップの▲12.0を予想している。上十三地区が42.3ポイントアップと大きく増加し18.8とプラスに転じる予想。下北地区は2期連続して増加し、13.3ポイントアップの0.0。津軽地区は横ばいで▲5.9、八戸地区は2期連続して減少し6.7ポイントダウンの▲21.7、青森地区は横ばいで▲23.5を予想。

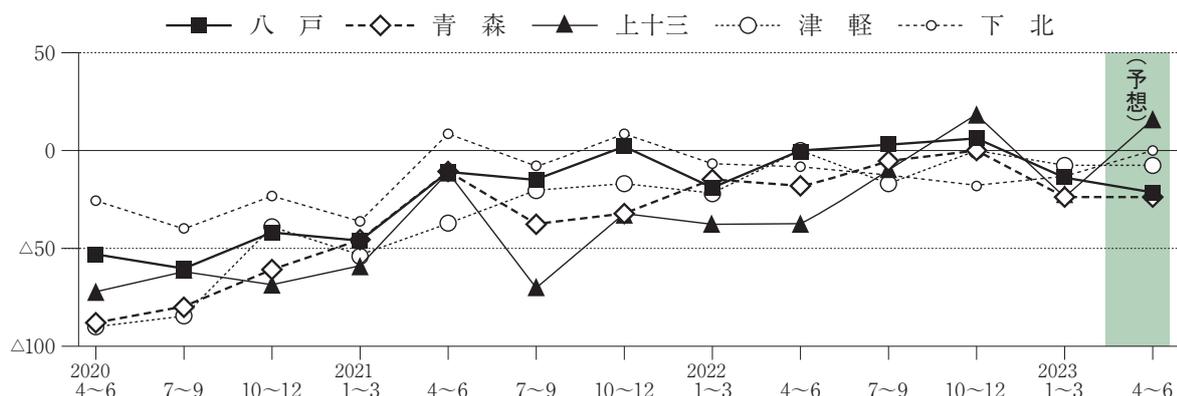
	全体	八戸地区	青森地区	上十三地区	津軽地区	下北地区
2022年10~12月期実績	2.3 ↗	5.1 ↗	0.0 ↗	16.7 ↗	0.0 ↗	▲17.6 ↘
前期比	7.0	1.7	5.3	27.8	16.7	-5.1
2023年1~3月期実績	▲15.9 ↘	▲15.0 ↘	▲23.5 ↘	▲23.5 ↘	▲5.9 ↘	▲13.3 ↗
前期比	-18.2	-20.1	-23.5	-40.2	-5.9	4.3
2023年4~6月期予想	▲12.0 ↗	▲21.7 ↘	▲23.5 →	18.8 ↗	▲5.9 →	0.0 ↗
今期比	3.9	-6.7	0.0	42.3	0.0	13.3

- <八戸地区> 前期増加から減少 来期も減少を予想
- <青森地区> 前期増加から減少 来期は横ばいを予想
- <上十三地区> 前期増加から減少 来期は増加を予想
- <津軽地区> 前期増加から減少 来期は横ばいを予想
- <下北地区> 前期減少から増加 来期も増加を予想

- ・売上DI増加 鉄工（製缶） その他製造業
- ・売上高横ばい 窯業・土石
- ・売上DI減少 建具 水産加工 包装・資材品 電気機械器具 製材・製函 菓子・麺 その他食品 印刷

- 【お客様の声】
- ・新型コロナウイルスに対する考え方が緩くなってきたので、人の出入りも増え、購買力が増えてきたような気がします。（菓子・麺）
 - ・コロナ感染の終息による引き合いの増はあるが（売上やや増加）、原材料及びエネルギー価格の高騰による収益悪化。（水産加工）
 - ・原材料が去年より数回値上げしており、50%近い値上げ（を実施し）、転嫁できたのは10%くらいで利幅がだいぶ少ない。（印刷）
 - ・高い原料を仕入れているため、販売単価も高く売上減少に繋がっている。（水産加工）

製造業売上DIの推移（地区別）



卸売業



経営上の問題点 (%)

順位	2022年				2023年	
	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月
1位	売上減 62.7	売上減 53.8	売上減 49.4	売上減 46.8	売上減 51.3	売上減 51.3
2位	仕入先からの値上り要請 36.1	仕入先からの値上り要請 33.8	仕入先からの値上り要請 39.5	仕入先からの値上り要請 39.2	仕入先からの値上り要請 35.0	仕入先からの値上り要請 35.0
3位	同業者との競争激化 25.3	利幅の縮小 26.3	利幅の縮小 23.5	同業者との競争激化 26.6	同業者との競争激化 30.0	同業者との競争激化 30.0
4位	利幅の縮小 20.5	同業者との競争激化 21.3	同業者との競争激化 23.5	人手不足 22.8	利幅の縮小 27.5	利幅の縮小 27.5
5位	取引先減少 14.5	取引先減少 17.5	人手不足 22.2	利幅の縮小 22.8	人件費以外の経費増加 26.3	人件費以外の経費増加 26.3

(数字は有効回答数に占める割合)

卸売業 前期増加から減少 来期は増加を予想

卸売業の売上高DIは前期は増加に転じ6.3とプラスとなったが、今期は18.8ポイントダウンの▲12.5とマイナスに転じた。下北地区は前期に続き30.0ポイントアップと大幅に増加し50.0だった。津軽地区は横ばいで0.0。八戸地区は13.9ポイントダウンで▲2.8と前期プラスからマイナスに転じた。上十三地区も30.8ポイントダウンの▲38.5となった。また、青森地区も50.6ポイントダウンの▲42.9と前期プラスからマイナスに転じた。

来期の売上高予想DIは10.0ポイントアップの▲2.5を予想。下北地区は25.0ポイントダウンを予想するが25.0とプラスを維持。津軽地区は横ばいを予想。八戸地区は8.4ポイントプラスで5.6と2期ぶりにプラスに転じる予想となっている。青森地区は、28.6ポイントアップして▲14.3を、上十三地区は15.4ポイントアップし▲23.1を予想。

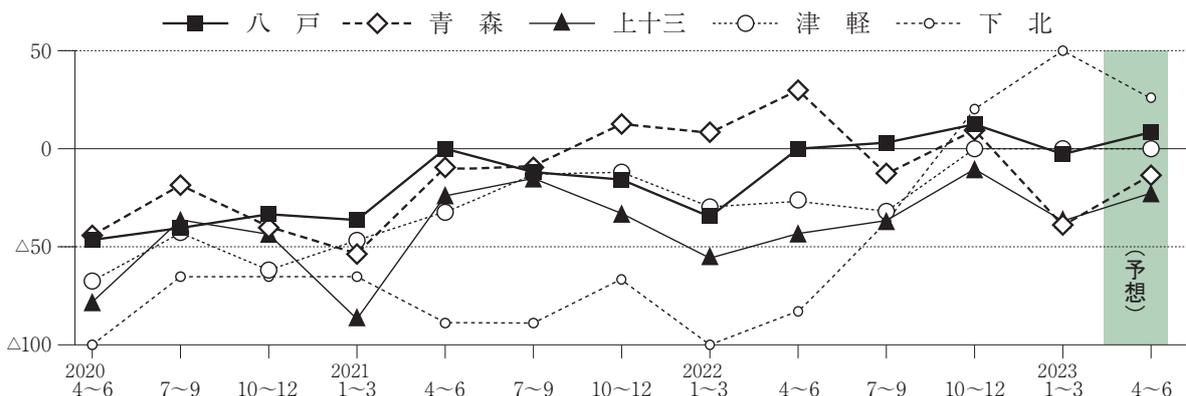
	全体	八戸地区	青森地区	上十三地区	津軽地区	下北地区
2022年10~12月期実績	6.3	11.1	7.7	▲7.7	0.0	20.0
前期比	21.1	8.3	21.0	30.8	33.3	60.0
2023年1~3月期実績	▲12.5	▲2.8	▲42.9	▲38.5	0.0	50.0
前期比	-18.8	-13.9	-50.6	-30.8	0.0	30.0
2023年4~6月期予想	▲2.5	5.6	▲14.3	▲23.1	0.0	25.0
今期比	10.0	8.4	28.6	15.4	0.0	-25.0

- <八戸地区> 前期増加から減少 来期は増加を予想
- <青森地区> 前期増加から減少 来期は増加を予想
- <上十三地区> 前期増加から減少 来期は増加を予想
- <津軽地区> 前期増加から横ばい 来期も横ばいを予想
- <下北地区> 2期続けて増加 来期は減少を予想

- ・売上DI増加 自動車部品 食料・飲料
- ・売上高横ばい 燃料・鋼材 文具・雑貨
- ・売上DI減少 一般機械器具 建材・木材 その他建築材料 珍味・水産乾物 その他卸売業 農畜産・水産物

- 【お客様の声】
- ・仕入高増加分を売上高に転嫁できているため（売上増加）。（食料・飲料）
 - ・引き続き仕入価格の値上げ・高騰が止まる気配ない中で、売上UPするものの需要低迷。販売数量減により相殺され微増に留まる。（建材・木材）
 - ・小売先の仕入の減少。顧客購入の減少。顧客自体の減少。（その他卸売業）
 - ・昨年秋の天候不順、今年年初の寒波による育成不良による入荷減のため。（農畜産・水産物）

卸売業売上DIの推移（地区別）



小売業



経営上の問題点 (％)

順位	2022年				2023年 1～3月
	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	
1位	売上減 61.8	売上減 55.1	売上減 55.1	売上減 56.6	売上減 50.6
2位	仕入先からの値上り要請 22.7	商圏人口の減少 25.5	仕入先からの値上り要請 30.0	仕入先からの値上り要請 26.4	仕入先からの値上り要請 27.9
3位	商圏人口の減少 21.9	仕入先からの値上り要請 25.5	商圏人口の減少 25.1	商圏人口の減少 21.9	人出不足 22.3
4位	同業者との競争激化 19.9	利幅の縮小 22.7	利幅の縮小 23.5	人出不足 20.7	利幅の縮小 21.5
5位	利幅の縮小 17.9	同業者との競争激化 18.2	人出不足 19.0	利幅の縮小 20.2	商圏人口の減少 21.0

(数字は有効回答数に占める割合)

小売業 前期増加から減少 来期も減少を予想

小売業の今期の売上高DIは、3期続けて増加した前期から、0.9ポイントダウンの▲13.7と減少に転じた。八戸地区は、8.7ポイントダウンしたが4.5とプラスを維持。津軽地区は9.4ポイントダウンして▲9.4とマイナスに転じた。青森地区は4期連続して増加し6.0ポイントアップの▲11.4、上十三地区も4期連続して増加し7.9ポイントアップの▲21.2だった。下北地区は2期連続して減少し3.8ポイントダウンの▲41.0だった。

来期の売上高予想DIは、減少6.5ポイントダウンの▲20.2を予想。八戸地区は10.6ポイントダウンの▲6.1とマイナスに転じる予想。津軽地区は3.1ポイントアップして▲6.3、上十三地区は2.0ポイントアップの▲19.2を予想。青森地区は11.3ポイントダウンの▲22.7を予想。下北地区では12.8ポイントダウンと3期続けての減少で▲53.8を予想している。

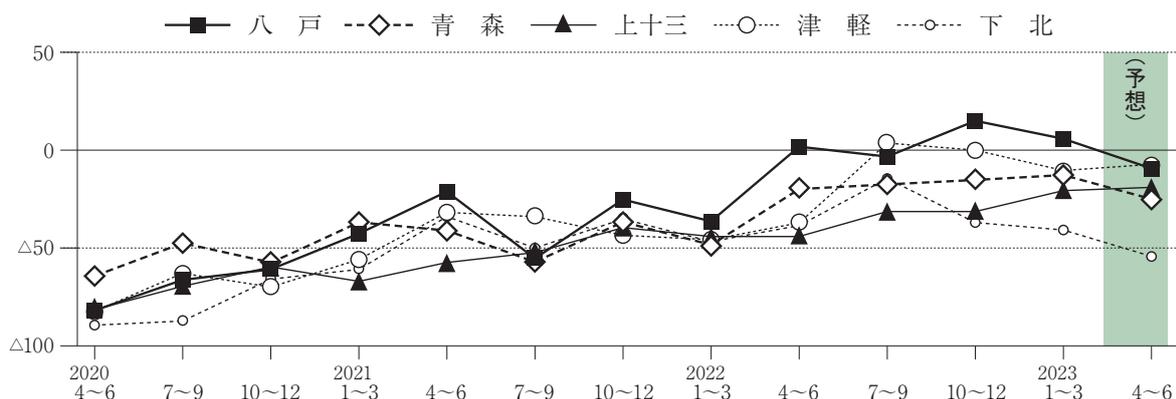
	全体	八戸地区	青森地区	上十三地区	津軽地区	下北地区
2022年10～12月期実績	▲12.8 ↗	13.2 ↗	▲17.4 ↗	▲29.1 ↗	0.0 ↘	▲37.2 ↘
前期比	0.9	16.1	1.4	1.8	-3.1	-21.3
2023年1～3月期実績	▲13.7 ↘	4.5 ↘	▲11.4 ↗	▲21.2 ↗	▲9.4 ↘	▲41.0 ↘
前期比	-0.9	-8.7	6.0	7.9	-9.4	-3.8
2023年4～6月期予想	▲20.2 ↘	▲6.1 ↘	▲22.7 ↘	▲19.2 ↗	▲6.3 ↗	▲53.8 ↘
今期比	-6.5	-10.6	-11.3	2.0	3.1	-12.8

- <八戸地区> 前期増加から減少 来期も減少を予想
- <青森地区> 4期連続して増加 来期は減少を予想
- <上十三地区> 4期連続して増加 来期も増加を予想
- <津軽地区> 2期連続して減少 来期は増加を予想
- <下北地区> 2期連続して減少 来期も減少を予想

- ・売上DI増加 総合衣料 総合食品 CD・レコード・書籍・文具 精肉・食肉
- ・売上高横ばい 呉服・寝具 靴・はき物 薬・化粧品
- ・売上DI減少 酒類 飲食業 その他食品 カメラ・メガネ・時計・宝石 家具・家庭用品 家電 燃料 等

- 【お客様の声】
- ・コロナが収束しつつあり、生活がある程度日常に近くなってきた。(酒類)
 - ・コロナ減少、消費マインド上昇、天候降雪量、プレミアム商品券。(家電)
 - ・仕入価格の上昇に伴い販売価格も上がり売上げ減少。(家具・家庭用品)
 - ・仕入価格上昇による販売価格の値上げの影響から、買い控えが起きている。(食肉・精肉)

小売業売上DIの推移 (地区別)



建設業



経営上の問題点 (%)

順位	2022年				2023年
	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月
1位	材料価格の上昇 59.6	材料価格の上昇 70.1	材料価格の上昇 66.1	材料価格の上昇 63.1	材料価格の上昇 59.8
2位	売上減 38.2	人手不足 42.4	人手不足 46.0	人手不足 52.9	人手不足 51.3
3位	人手不足 36.4	売上減 33.9	売上減 28.6	売上減 28.0	売上減 31.7
4位	利幅の縮小 24.9	利幅の縮小 23.2	利幅の縮小 23.2	利幅の縮小 22.7	利幅の縮小 29.5
5位	同業者との競争激化 22.2	同業者との競争激化 19.2	同業者との競争激化 18.3	同業者との競争激化 19.6	同業者との競争激化 19.6

(数字は有効回答数に占める割合)

建設業 前期増加から減少 来期は増加の見通し

建設業の今期の売上高DIは、2期連続して増加した前期から16.8ポイントダウンの▲15.9と減少に転じた。下北地区が50.4ポイントアップの18.8とプラスに転じたが、その他の地区は減少した。青森地区は18.7ポイントダウンの▲3.1と前期からマイナスに転じた。上十三地区は13.2ポイントダウンの▲22.7、八戸地区は21.7ポイントダウンの▲24.6、津軽地区も31.6ポイントダウンの▲27.8だった。

建設業における来期の売上高予想DIは、8.4ポイントアップの▲7.5を予想。上十三地区は22.7ポイントアップの0.0、青森地区は1.5ポイントダウンの▲4.6、津軽地区は20.4ポイントアップの▲7.4、八戸地区は15.9ポイントアップの▲8.7を予想。今期プラスとなった下北地区は、43.8ポイントダウンの▲25.0とマイナスに転じる予想。

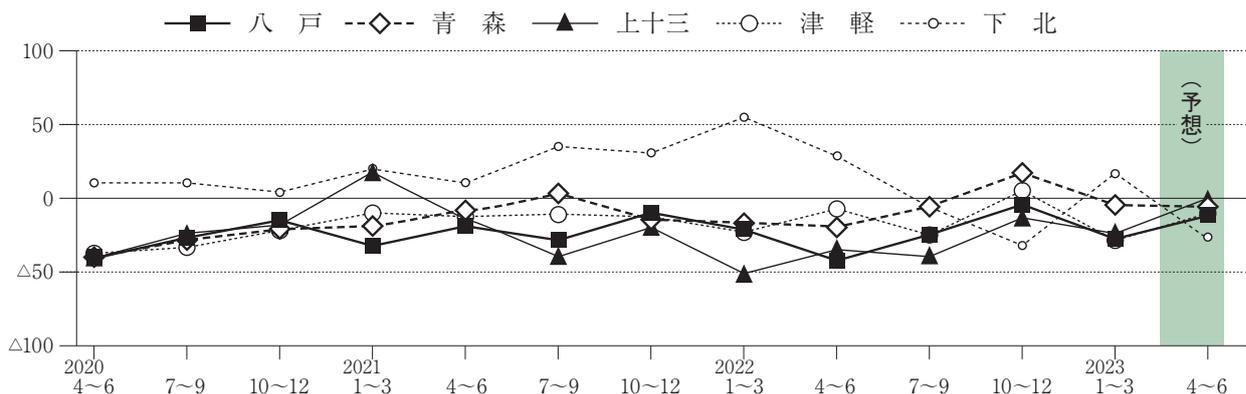
	全体	八戸地区	青森地区	上十三地区	津軽地区	下北地区
2022年10~12月期実績	0.9	▲2.9	15.6	▲9.5	3.8	▲31.6
前期比	19.2	20.3	20.2	31.4	28.8	-26.6
2023年1~3月期実績	▲15.9	▲24.6	▲3.1	▲22.7	▲27.8	18.8
前期比	-16.8	-21.7	-18.7	-13.2	-31.6	50.4
2023年4~6月期予想	▲7.5	▲8.7	▲4.6	0.0	▲7.4	▲25.0
今期比	8.4	15.9	-1.5	22.7	20.4	-43.8

- <八戸地区> 前期増加から減少 来期は増加を予想
- <青森地区> 前期増加から減少 来期も減少を予想
- <上十三地区> 前期増加から減少 来期は増加を予想
- <津軽地区> 前期増加から減少 来期は増加を予想
- <下北地区> 前期減少から増加 来期は減少を予想

- ・売上DI増加 左官工事
- ・売上DI減少 内装工事 その他造園 塗装工事 鉄骨工事 管工事 板金工事 建築工事 電気工事 他

- 【お客様の声】
- ・請負価格上昇による売上増加。(建築工事)
 - ・材料値上げで売上が伸びているが、利益率は下がっている。(内装工事)
 - ・公共工事における建築工事の減少及び民間中程度工事の減少が弊社売上に影響を及ぼしている。(建設業)
 - ・資材高の影響や人材不足により(売上)やや減少。(建設業)

建設業売上DIの推移 (地区別)



サービス業



経営上の問題点 (％)

順位	2022年				2023年	
	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月
1位	売上減 51.2	売上減 52.9	売上減 49.3	売上減 44.6	売上減 46.1	売上減 46.1
2位	材料価格の上昇 32.2	同業者との競争激化 49.0	材料価格の上昇 36.3	材料価格の上昇 37.7	材料価格の上昇 42.6	材料価格の上昇 42.6
3位	人手不足 27.5	材料価格の上昇 37.0	人手不足 35.3	人手不足 36.3	人手不足 37.3	人手不足 37.3
4位	同業者との競争激化 18.0	人件費以外の経費増加 18.8	利幅の縮小 16.9	利幅の縮小 16.2	人件費以外の経費増加 17.6	人件費以外の経費増加 17.6
5位	人件費以外の経費増加 14.2	利幅の縮小 16.8	人件費以外の経費増加 16.4	人件費以外の経費増加 14.7	人件費増加 17.2	人件費増加 17.2

(数字は有効回答数に占める割合)

サービス業 前期増加から減少 来期は横ばいを予想

サービス業の売上高DIは3期連続して増加した前期から、3.4ポイントダウンの▲12.7と減少に転じた。八戸地区は5.3ポイントアップの5.3と0.0からプラスに転じた。上十三地区は17.1ポイントアップの▲2.0、下北地区が10.5ポイントダウンの▲23.5、津軽地区が2.6ポイントダウンの▲28.9だった。青森地区は37.9ポイントダウンの▲30.2とマイナスに転じた。

来期のサービス業における売上高予想DIは横ばいの▲12.7を予想。上十三地区が2.0ポイントプラスで0.0を予想。青森地区は20.9ポイントプラスの▲9.3となり、八戸地区は21.1ポイントマイナスの▲15.8とマイナスに転じると予想される。下北地区は11.7ポイントアップして▲11.8を、津軽地区は横ばいで▲28.9を予想。

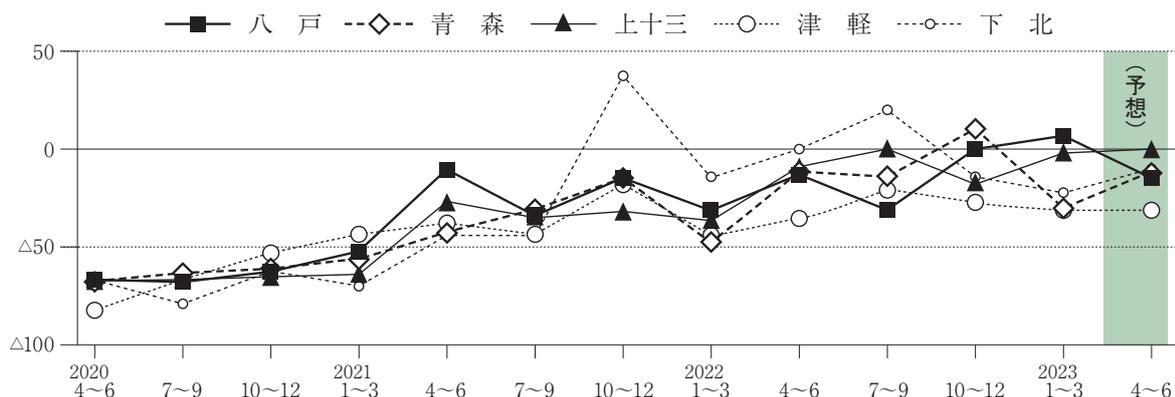
	全体	八戸地区	青森地区	上十三地区	津軽地区	下北地区
2022年10～12月期実績	▲9.3	0.0	7.7	▲19.1	▲26.3	▲13.0
前期比	2.3	28.6	20.2	-19.1	-4.1	-33.0
2023年1～3月期実績	▲12.7	5.3	▲30.2	▲2.0	▲28.9	▲23.5
前期比	-3.4	5.3	-37.9	17.1	-2.6	-10.5
2023年4～6月期予想	▲12.7	▲15.8	▲9.3	0.0	▲28.9	▲11.8
今期比	0.0	-21.1	20.9	2.0	0.0	11.7

- <八戸地区> 2期連続して増加 来期は減少を予想
- <青森地区> 前期増加から減少 来期は増加を予想
- <上十三地区> 前期減少から増加 来期も増加を予想
- <津軽地区> 2期連続して減少 来期は横ばいを予想
- <下北地区> 2期連続して減少 来期は増加を予想

- ・売上DI増加 測量 理美容 等
- ・売上高横ばい 船舶内燃機関 旅行 クリーニング 冠婚葬祭
- ・売上DI減少 リース 情報サービス ホテル 広告 運送業 タクシー 自動車整備

- 【お客様の声】
- ・コロナの減少で旅行やイベントの動きがオシャレ洋服の着用の機会が増えてきたと思う。(クリーニング)
 - ・コロナ感染が落ち着き、政府がマスク着用を各自の判断としたことにより、取扱額の増加が見込まれる。(旅行備)
 - ・キャンペーン不参加の為売り上げ減少(デジタル化ついていけない)(宿泊業)
 - ・燃料費の高騰及び取引先の減産に伴う売上の減少。(運送業)

サービス業売上DIの推移 (地区別)



不動産業



経営上の問題点 (%)

順位	2022年				2023年 1~3月
	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	
1位	売上減 55.3	売上減 52.8	売上減 55.6	売上減 62.2	商品物件の不足 51.4
2位	商品物件の不足 39.5	商品物件の不足 47.2	商品物件の不足 47.2	商品物件の不足 56.8	売上減 48.6
3位	同業者との競争激化 28.9	利幅の縮小 36.1	同業者との競争激化 41.7	利幅の縮小 27.0	利幅の縮小 40.5
4位	利幅の縮小 28.9	同業者との競争激化 27.8	商品物件価格高騰 19.4	同業者との競争激化 18.9	同業者との競争激化 21.6
5位	同業者との競争激化 18.4	商品物件価格高騰 16.7	人出不足・利幅の縮小 16.7	商品物件価格高騰 13.5	商品物件価格高騰 18.9

(数字は有効回答数に占める割合)

不動産業 前期から横ばい 来期は増加を予想

不動産業の売上高DIは、前期から横ばいの▲32.4だった。津軽地区は前期から横ばいで20.0、八戸地区は30.7ポイントアップの▲23.1、下北地区は横ばいで▲33.3、青森地区は横ばいで▲57.1、上十三地区は66.7ポイントダウンの▲66.7となっている。

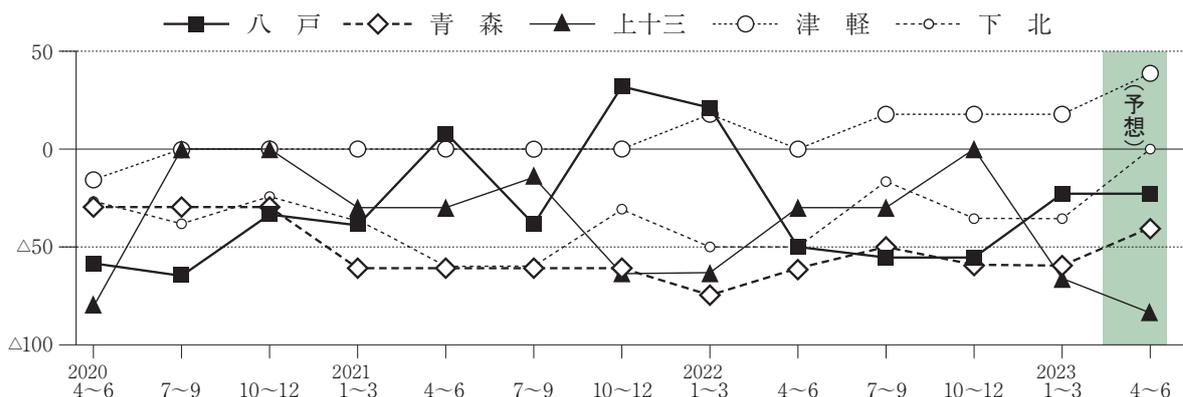
来期の売上高予想DIは、今期から8.1ポイントアップの▲24.3と増加に転じる予想。津軽地区は20.0ポイントアップの40.0とプラスを維持し。下北地区も33.3ポイントアップの0.0を予想。八戸地区は▲23.1と横ばい。青森地区は14.2ポイントアップの▲42.9、上十三地区は16.6ポイントマイナスの▲83.3を予想。

	全体	八戸地区	青森地区	上十三地区	津軽地区	下北地区
2022年10~12月期実績	▲32.4 ↗	▲53.8 →	▲57.1 ↘	0.0 ↗	20.0 →	▲33.3 ↘
前期比	0.9	0.0	-7.1	33.3	0.0	-16.6
2023年1~3月期実績	▲32.4 →	▲23.1 ↗	▲57.1 →	▲66.7 ↘	20.0 →	▲33.3 →
前期比	0.0	30.7	0.0	-66.7	0.0	0.0
2023年4~6月期予想	▲24.3 ↗	▲23.1 →	▲42.9 ↗	▲83.3 ↘	40.0 ↗	0.0 ↗
今期比	8.1	0.0	14.2	-16.6	20.0	33.3

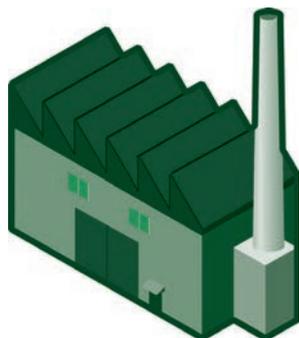
- <八戸地区> 前期横ばいから増加 来期は横ばいを予想
- <青森地区> 前期減少から横ばい 来期は増加を予想
- <上十三地区> 前期増加から減少 来期も減少を予想
- <津軽地区> 2期続けて横ばい 来期は増加を予想
- <下北地区> 前期減少から横ばい 来期は増加を予想

- 【お客様の声】
- ・中古ビル購入により、テナント収入が増えたため。
 - ・家賃の値上げによる。
 - ・異動の減少に伴う賃貸需要の減退、消費者の買い控えに伴う売買件数の減少。
 - ・物価の上昇による心理的要因と広告宣伝の不足。

不動産業売上DIの推移（地区別）



設備投資動向



業種別設備投資内容 2023年1～3月期実績 (単位:%)

	全体	製造業	卸売業	小売業	建設業	サービス業
事業用土地	1.6 ↗ (1.8) ↘	0.0 → (0.0) →	3.9 ↗ (1.3) ↘	1.4 ↗ (1.0) ↘	2.0 ↗ (3.4) ↘	1.6 ↗ (2.1) ↘
事業用建物	2.9 ↘ (2.1) ↘	0.9 ↘ (0.9) →	5.3 ↘ (2.6) ↘	1.0 ↘ (1.0) →	2.5 ↗ (2.0) ↘	5.7 ↗ (4.2) ↘
機械の 新增設	6.8 ↗ (6.4) ↘	7.9 ↘ (7.0) ↘	5.3 → (6.6) ↗	6.2 ↗ (6.3) ↗	7.4 ↘ (5.4) ↘	6.8 ↗ (7.3) ↘
機械の 更改	6.3 ↗ (5.0) ↘	8.8 ↗ (5.2) ↘	3.9 ↗ (3.9) →	5.3 ↗ (4.9) ↘	5.4 ↘ (5.4) →	7.8 ↗ (5.2) ↘
事務 機器	6.3 ↗ (4.8) ↘	6.1 ↗ (3.5) ↘	9.2 ↗ (6.6) ↘	3.3 ↗ (2.4) ↘	8.8 ↗ (7.8) ↘	5.7 ↗ (4.2) ↘
車両・ 運搬具	10.7 ↗ (9.8) ↘	5.3 ↘ (6.1) ↗	15.8 ↘ (10.5) ↘	4.8 ↘ (3.9) ↘	18.1 ↘ (13.7) ↘	10.4 ↘ (14.1) ↘
その他	1.4 ↘ (1.1) ↘	1.8 ↗ (2.6) ↗	2.6 ↘ (0.0) ↘	1.0 ↘ (0.5) ↘	1.5 ↘ (2.0) ↗	1.0 ↗ (0.5) ↘
計	23.6 ↗ (19.5) ↘	20.2 ↗ (18.3) ↘	25.0 ↗ (18.4) ↘	15.8 ↘ (13.1) ↘	32.8 ↗ (25.5) ↘	24.0 ↗ (21.4) ↘

数字は設備投資の実施割合 ()は2023年4～6月期の見直し

2023年1～3月期の設備投資の現況

設備投資実施企業の割合は前期の22.6%から1.0%ポイントアップの23.6%

(1) 全体

設備投資実施割合は、全体で前期比1.0%ポイントアップの23.6%で、実施企業数は、有効回答企業795社中188社だった。

(2) 業種別

業種別では、建設業が最も実施割合が高く32.8%で前期比4.5%ポイントアップとなった。次いで卸売業25.0%（前期比8.3%ポイントダウン）、サービス業24.0%（同3.4%ポイントアップ）、製造業20.2%（同2.8%ポイントアップ）となった。小売業は、業種別で最も低い15.8%で前期比2.2%ポイントダウンだった。

(3) 地区別

地区別でみると八戸地区の実施割合が最も高く31.3%で前期から2.9%ポイントアップした。次いで、青森地区が28.1%（前期比0.6%ポイントアップ）、上十三地区の19.1%（同2.0%ポイントアップ）と続く。津軽地区は上十三地区に次いで15.8%だったが、唯一前期比減となり4.5%ポイントダウンとなった。

(4) 設備投資内容

設備投資の内容を見ると、「車両・運搬具」が最も実施割合が高く、10.7%、次いで「機械の新增設」が6.8%、「機械の更改」と「事務機器」がそれぞれ6.3%、「事業用建物」2.9%、「事業用土地」が1.6%となっている。

2023年4～6月期の設備投資の予定

来期の設備投資実施割合は今期の23.6%から4.1%ポイントダウンの19.5%を予定

(1) 全体

来期の設備投資予定割合は、全体で今期比4.1%ポイントダウンの19.5%の実施割合を予定。

(2) 業種別

製造業・卸売業・小売業・建設業・サービス業の全業種で減少。建設業において7.3%ポイントダウンの25.5%の実施を予定。次いで、サービス業が21.4%（今期比2.6%ポイントダウン）、卸売業が18.4%（同6.6%ポイントダウン）、製造業が18.3%（同1.9%ポイントダウン）を予定している。小売業は13.1%（同2.7%ポイントダウン）を予定。

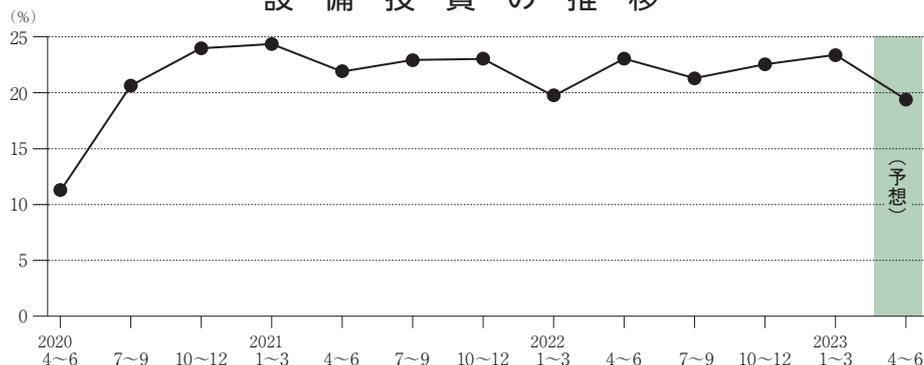
(3) 地区別

地区別では、八戸地区・青森地区・上十三地区・津軽地区・下北地区の全地区で減少を予定。青森地区は1.8%ポイントダウンの26.3%、八戸地区は7.4%ポイントダウンの23.9%となっている。次いで、上十三地区16.4%（同2.7%ポイントダウン）、津軽地区14.4%（今期比1.4%ポイントダウン）、下北地区6.7%（同5.4%ポイントダウン）を予定。

(4) 設備投資内容

設備投資の内容は、「車両・運搬具」が最も実施割合が高く、9.8%、次いで「機械の新增設」が6.4%、「機械の更改」5.0%、「事務機器」4.8%、「事業用建物」が2.1%、「事業用土地」が1.8%の順となっている。

設備投資の推移



主要経済指標

Key Economic Indicator

青森県主要経済指標

	人口	県内金融機関預貸金(億円)		手形交換高		企業倒産		県鉱工業生産指数(2015年=100)				県公共事業予算(億円)
		実質預金	貸出金	枚(千枚)	金額(億円)	件数(件)	負債額(百万円)	鉱工業総合	鉄鋼業	業務用機械工業	食料品工業	
2022年 1月	1,241,482	57,479	31,854	22	223	1	110	104.6	83.6	72.4	106.8	1,158
2月	1,239,937	57,679	31,868	20	198	4	287	100.0	85.8	72.3	101.4	1,158
3月	1,233,084	58,874	32,368	22	215	7	338	98.8	80.9	71.9	105.9	1,402
4月	1,233,652	59,442	31,836	16	158	2	72	105.8	70.0	75.0	101.1	936
5月	1,233,015	58,821	31,872	22	216	2	40	96.4	63.0	82.5	105.3	936
6月	1,232,137	59,058	31,795	19	166	5	554	93.0	76.9	84.8	111.3	936
7月	1,231,217	58,879	31,827	17	132	5	1,268	96.1	68.4	71.4	106.7	937
8月	1,230,399	58,693	31,822	21	210	1	10	91.5	66.8	66.6	103.0	937
9月	1,229,378	58,506	32,119	18	177	1	98	90.9	64.4	73.5	102.4	937
10月	1,228,296	58,877	32,394	18	161	8	602	98.1	61.5	78.3	97.9	996
11月	1,227,033	58,754	32,364	2	14	3	206	95.7	60.9	72.7	100.8	996
12月	1,226,497	59,143	32,368	2022年11月4日 手形交換所廃止		6	723	93.9	59.9	75.0	97.2	1,216
2023年 1月	1,223,499	58,434	32,215			2	130	95.5	57.4	80.7	111.6	1,216
2月	1,221,698	58,242	32,194			4	571	96.6	49.1	76.4	104.0	1,216
3月	1,215,085	-	-	4	959	-	-	-	-	-	1,213	
前年同月比(%)	▲ 1.5	-	-	-	-	▲ 42.9	183.7	-	-	-	-	▲ 13.5
累計前年比(%)	▲ 1.4	-	-	-	-	19.4	0.9	-	-	-	-	▲ 5.9

- 鉱工業生産指数の前年同月比は原指数、月間数値は季節調整済。
- 実質預金は総預金から小切手手形を除く(信託勘定を含まず)、貸出金は金融期間貸付金を含まず。
- 企業倒産は東京商工リサーチ青森・八戸両支店調(負債総額1千万円以上) ● 人口は住民基本台帳による。

	建築物着工床面積(千㎡)	住宅着工戸数(戸)	有効求人倍率(倍)	新車登録台数(台)		水揚(属地)		りんご				
				乗用車	軽自動車	数量(トン)	金額(百万円)	産地価格(円/kg)	消費地市場価格(円/kg)	県外出荷(トン)	国産りんご輸出	
											数量(トン)	金額(百万円)
2022年 1月	42	202	1.16	1,637	1,345	4,809	1,551	245	384	27,190	3,446	1,661
2月	42	212	1.13	1,570	1,650	4,042	1,180	237	364	27,457	1,661	717
3月	73	426	1.14	2,464	2,477	5,250	1,791	264	373	29,871	1,504	648
4月	105	598	1.15	1,960	1,614	14,787	2,634	338	386	23,698	1,774	815
5月	116	591	1.15	1,422	1,284	28,361	5,091	-	446	16,491	732	357
6月	113	542	1.17	1,532	1,797	24,932	5,890	-	462	11,935	498	246
7月	94	485	1.17	2,088	1,768	27,565	6,637	-	490	8,411	417	214
8月	80	462	1.17	1,444	1,428	5,723	3,202	-	528	2,800	476	267
9月	66	441	1.18	1,973	2,009	4,194	2,816	189	284	21,064	1,006	429
10月	73	454	1.19	1,774	1,834	4,276	2,418	279	330	25,853	6,742	2,876
11月	75	458	1.20	1,831	2,139	3,694	3,340	230	342	22,585	6,452	3,348
12月	59	386	1.22	1,352	1,618	4,306	2,855	184	411	27,740	-	-
2023年 1月	28	210	1.22	1,916	1,784	-	-	326	326	29,161	2,496	1,263
2月	32	179	1.18	2,237	1,893	-	-	172	302	33,028	2,826	1,199
3月	58	372	1.19	3,170	2,637	-	-	197	303	33,926	3,614	1,525
前年同月比(%)	▲ 20.5	▲ 12.7	-	28.7	6.5	-	-	▲ 25.4	▲ 18.8	13.6	140.3	135.3
累計前年比(%)	▲ 6.5	▲ 4.1	-	4.4	11.4	-	-	▲ 4.2	7.4	▲ 2.4	▲ 10.0	▲ 8.3

- 有効求人倍率：パートを含む。月間数値は季節調整値。
- りんごの年度は各年9月～翌年8月まで

主要経済指標

Key Economic Indicator

八戸市内主要経済指標

	世帯数	人口	婚姻届		金融機関預貸金		不渡形 (件)	取引止 (件)	企業倒産	
	世帯	人	合計	窓口 受付分	預金 (億円)	貸出金 (億円)			件数 (件)	負債額 (百万円)
2022年 1月	109,590	223,277	220	75	13,975	7,021	0	0	0	0
2月	109,507	223,040	113	46	13,952	7,022	1	0	1	67
3月	109,632	222,173	219	104	14,089	7,088	0	0	0	0
4月	109,940	222,166	133	60	14,209	7,014	0	0	1	12
5月	109,966	222,032	166	62	14,117	6,997	0	0	0	0
6月	110,075	222,015	151	62	14,188	7,001	0	0	1	11
7月	110,081	221,818	148	62	14,193	7,039	0	0	3	609
8月	110,138	224,791	144	62	14,146	7,048	0	0	0	0
9月	110,242	221,712	110	46	14,082	7,093	0	0	0	0
10月	110,261	221,589	156	70	14,129	7,063	0	0	3	114
11月	110,299	221,463	188	81	-	-	0	0	0	0
12月	110,195	221,229	149	70	2022年11月4日手形交換所廃止				1	10
2023年 1月	110,142	220,969	161	67					1	80
2月	110,070	220,714	101	43					0	0
3月	110,036	219,733	236	84					1	23
前年同月比(%)	0.4	▲ 1.0	▲ 1.3	▲ 15.7	-	-	-	-	↑	↑
累計前年比(%)	0.4	▲ 0.9	1.9	0.0	-	-	-	-	42.9	▲ 4.5

●企業倒産は東京商工リサーチ青森・八戸両支店調（負債総額1千万円以上）

	八戸港水揚高		魚種別水揚数量			魚種別平均単価(10キロ)			大型小売店 売上高 (4店前年比)	食品 スーパー 売上高 (3店前年比)	新車登録台数(台)	
	数量 (トン)	金額 (百万円)	イカ (トン)	サバ (トン)	イワシ (トン)	スルメイカ (円)	ムラサキイカ (円)	サバ (円)			乗用車	軽自動車
2022年 1月	694	227	127	7	0	8,204	0	749	▲ 0.7	0.6	337	231
2月	895	235	157	0	218	8,908	5,726	0	▲ 10.4	3.1	310	240
3月	1,412	537	457	0	0	8,871	6,818	0	▲ 6.8	3.9	465	391
4月	615	166	0	1	0	0	0	290	1.8	3.7	455	216
5月	2,500	325	36	90	0	9,287	0	979	9.6	2.5	269	214
6月	1,931	279	80	65	0	0	9,098	979	4.9	1.2	291	278
7月	9,273	1,323	864	56	7,864	0	9,322	1,036	▲ 0.3	5.1	452	235
8月	2,224	1,771	1,686	433	12	13,101	10,360	1,959	9.5	2.9	257	196
9月	2,913	1,983	1,531	694	177	11,574	13,731	1,220	24.3	4.7	403	306
10月	2,961	1,217	701	111	1,917	12,233	10,975	1,007	5.9	6.3	341	270
11月	2,164	1,502	888	303	245	12,056	9,333	1,277	2.7	11.5	387	299
12月	1,294	419	134	298	416	12,545	9,551	1,351	2.7	7.0	241	247
2023年 1月	780	284	112	30	0	12,786	13,897	1,470	8.7	4.9	404	277
2月	966	313	79	0	4	13,338	10,867	0	14.0	4.4	502	279
3月	878	402	188	0	0	12,624	15,190	0	15.3	6.3	489	384
前年同月比(%)	▲ 10.8	▲ 49.6	▲ 73.2	▲ 64.6	▲ 40.1	43.6	↑	▲ 15.7	-	-	5.2	▲ 1.8
累計前年比(%)	▲ 35.1	15.0	▲ 14.6	▲ 79.4	▲ 42.8	50.7	217.0	13.9	-	-	▲ 1.6	6.5

●八戸港水揚高・魚種別水揚数量・魚種別平均単価の累計前年比は年次比較

●魚種別平均単価：スルメイカは船凍スルメイカ、ムラサキイカは釣りムラサキイカ

●食品スーパー売上高：即存店ベース

主要経済指標

Key Economic Indicator

	八戸市中央卸売市場				雇用状況(全数)					八戸市公共 事業予算 (百万円)	公共工事 受注高 (百万円)	地元5社受注高	
	数量 (トン)	金額 (百万円)	数量(トン)		新規求人 (人)	有効求人 (人)	有効求職 (人)	就業者 (人)	有効求人 倍率(倍)			民間新規 (百万円)	官・民残高 (百万円)
		野菜	果物										
2022年 1 月	5,749	1,517	4,730	986	2,558	6,861	5,110	330	1.34	▲ 1,371	40	3	12,781
2 月	6,312	1,721	5,198	1,080	2,716	7,247	5,266	413	1.38		719	851	13,124
3 月	7,031	1,900	5,941	1,043	2,742	7,514	5,524	584	1.36		1,591	185	12,743
4 月	7,116	1,666	6,208	876	2,323	7,148	5,652	590	1.26	2,435	587	72	12,675
5 月	6,722	1,660	6,011	672	2,577	7,128	5,552	470	1.28		502	187	12,915
6 月	8,367	1,661	7,721	628	2,648	7,056	5,470	485	1.29		948	77	6,606
7 月	9,021	1,838	8,229	772	2,294	6,999	5,131	360	1.36	1,754	1,382	846	7,510
8 月	8,209	1,800	7,066	1,123	2,577	7,145	5,044	407	1.42		2,043	179	8,337
9 月	9,562	1,932	8,519	1,022	2,606	7,097	4,964	427	1.43		1,404	115	8,959
10 月	11,943	2,275	10,712	1,206	2,487	7,196	5,039	419	1.43	1,302	813	11	9,548
11 月	10,957	1,935	9,391	1,533	2,405	7,040	4,952	425	1.42		539	295	9,915
12 月	7,921	1,925	6,275	1,608	2,396	6,785	4,869	388	1.39		114	820	10,477
2023年 1 月	5,330	1,410	4,322	981	2,430	6,791	5,087	358	1.33	-	509	1,040	11,439
2 月	6,123	1,662	5,002	1,094	2,622	7,164	5,342	409	1.34	-	1,350	537	11,348
3 月	8,037	1,960	6,853	1,149	3,244	7,878	5,433	540	1.45	-	2,482	76	10,837
前年同月比(%)	14.3	3.2	15.4	10.2	18.3	4.8	▲ 1.6	▲ 7.5	-	-	56.0	▲ 58.9	▲ 15.0
累計前年比(%)	▲ 4.8	0.1	▲ 4.8	▲ 4.6	▲ 0.1	1.2	2.4	▲ 2.0	-	-	▲ 2.5	▲ 10.2	▲ 12.1

- 中央卸市場実績の累計前年比は年次比較
- 不渡手形および取引停止は法人および事業者
- 公共工事受注高は八戸建設業協会分

	住宅建設				市内鉄工業者(7社)				貿易実績		
	建築確認 (件)	着工戸数 (戸)	持ち家 (戸)	貸家 (戸)	新規受注 (百万円)	鉄骨 (百万円)	製缶 (百万円)	受注残高 (百万円)	輸出 (百万円)	輸入 (百万円)	合計 (百万円)
2022年 1 月	49	46	31	0	211	115	76	3,060	2,039	21,953	23,992
2 月	72	76	34	24	70	13	42	3,004	8,511	17,153	25,665
3 月	27	92	50	20	2,909	2,758	136	5,627	3,739	41,768	45,508
4 月	71	106	42	40	275	62	198	5,781	5,358	25,486	30,844
5 月	79	89	47	30	835	770	47	7,027	5,248	19,747	24,995
6 月	84	108	55	28	162	72	66	6,407	3,926	28,435	32,361
7 月	95	67	53	0	890	803	69	1,534	5,268	21,356	26,624
8 月	64	119	61	42	110	31	63	6,293	5,185	31,506	36,692
9 月	74	86	49	24	104	21	63	5,166	2,616	22,309	24,925
10 月	81	93	52	12	213	114	81	5,131	7,290	30,471	7,760
11 月	70	79	47	14	388	284	85	4,611	5,441	26,316	31,757
12 月	47	88	41	27	214	101	96	4,515	6,809	15,244	22,053
2023年 1 月	47	57	25	25	224	28	178	1,620	3,724	22,739	26,464
2 月	57	56	36	0	75	24	32	4,860	6,714	19,872	26,586
3 月	144	78	29	30	596	475	103	4,102	8,434	21,910	30,344
前年同月比(%)	433.3	▲ 15.2	▲ 42.0	50.0	▲ 79.5	▲ 82.8	▲ 24.3	▲ 27.1	125.6	▲ 47.5	▲ 33.3
累計前年比(%)	▲ 2.8	▲ 9.3	▲ 18.5	10.1	▲ 41.0	▲ 53.2	35.3	9.2	1.6	21.7	7.3

- 建築確認は、工作物や昇降機等は除く
- 貿易実績は八戸税関支署発表による

主要經濟指標

Key Economic Indicator

青森市内主要經濟指標

	世帯数	人口	婚姻届	手形交換高		消費者物価指数 (前年同月比)	新車登録台数(台)		大型小売店 売上高 (2店前年比)
	世帯	人	合計	枚 (千枚)	金額 (億円)		乗用車	軽自動車	
2022年 1月	137,104	274,713	236	6	78	1.1	394	270	▲ 3.8
2月	136,983	274,396	152	5	67	1.4	357	315	▲ 22.1
3月	136,781	272,752	249	6	76	1.2	710	495	▲ 2.1
4月	137,431	273,305	160	5	54	5.2	508	369	7.1
5月	137,539	273,200	179	6	76	2.6	365	270	9.3
6月	137,507	273,000	149	5	52	3.1	369	409	4.5
7月	137,500	272,846	188	5	49	3.2	558	377	4.0
8月	137,433	272,620	179	6	69	3.6	374	269	1.4
9月	137,371	272,323	139	5	56	3.9	503	409	5.2
10月	137,321	272,098	150	5	53	3.6	439	395	13.0
11月	137,224	271,833	203	1	5	3.5	449	435	▲ 0.8
12月	137,074	271,544	171	2022年11月4日 手形交換所廃止		4.2	374	352	0.2
2023年 1月	136,886	271,132	177			3.9	473	357	5.2
2月	136,734	270,734	119			2.8	524	370	22.1
3月	136,490	269,095	250			2.9	837	554	3.8
前年同月比(%)	▲ 0.2	▲ 1.3	0.4	-	-	-	17.9	11.9	-
累計前年比(%)	▲ 0.1	▲ 1.3	▲ 4.0	-	-	-	5.9	11.4	-

●消費者物価指数：生鮮食品を除く総合 2020年基準

	青森市中央卸売市場										
	水産物						青果物				花き
	鮮魚		冷凍品		塩干加工品		野菜		果実		
	数量(トン)	金額(百万円)	数量(トン)	金額(百万円)	数量(トン)	金額(百万円)	数量(トン)	金額(百万円)	数量(トン)	金額(百万円)	金額(百万円)
2022年 1月	763	561	454	453	281	367	2,065	464	823	259	41
2月	679	510	452	447	259	299	2,165	496	961	329	41
3月	777	574	540	1,101	304	359	2,313	519	947	339	77
4月	839	663	246	285	338	417	2,706	601	767	274	61
5月	776	600	230	270	275	366	2,832	644	586	203	65
6月	664	538	219	244	327	439	4,908	775	616	200	53
7月	726	586	223	277	311	473	5,577	878	852	309	47
8月	646	658	284	321	297	415	4,114	662	1,253	386	106
9月	574	595	363	334	293	417	5,931	880	681	209	68
10月	624	781	458	444	307	453	8,091	1,072	812	225	61
11月	710	809	635	987	351	575	4,861	698	803	222	50
12月	867	1,163	510	660	435	691	3,246	631	1,066	327	88
2023年 1月	812	710	352	349	251	341	2,050	477	858	276	46
2月	729	611	429	405	260	352	2,249	532	943	311	52
3月	799	757	470	504	301	402	2,523	575	910	326	80
前年同月比(%)	2.8	31.9	▲ 13.0	▲ 54.2	▲ 1.0	12.0	9.1	10.8	▲ 3.9	▲ 3.8	3.9
累計前年比(%)	▲ 5.0	17.0	▲ 20.7	▲ 17.1	▲ 11.0	2.5	▲ 0.2	7.1	▲ 2.5	▲ 2.5	1.3

●青森市中央卸売市場は年次統計

主要経済指標

Key Economic Indicator

	青森市公共 事業予算 (億円)	住 宅 建 設				不渡手形 (件)	取引停止 (件)	企 業 倒 産	
		建築確認 (件)	着工戸数 (戸)	持ち家 (戸)	貸 家 (戸)			件 数 (件)	負債額 (百万円)
2022年 1 月	2	56	29	23	0	0	0	1	110
2 月		58	49	21	17	0	0	2	20
3 月		97	102	52	32	0	0	3	95
4 月	50	95	116	85	20	1	0	0	0
5 月		110	78	73	0	0	1	0	0
6 月		133	104	77	13	1	0	1	430
7 月		102	128	73	36	0	0	1	580
8 月		108	95	67	20	0	0	0	0
9 月	▲ 10	96	106	79	18	0	0	0	0
10 月		83	84	58	16	0	0	2	300
11 月		98	92	61	20	2022年11月4日 手形交換所廃止	0	0	0
12 月		50	65	50	2		1	12	
2023年 1 月	60	34	26	4	0		0		
2 月	65	50	28	4	1		10		
3 月	111	74	41	0	2	150			
前年同月比(%)	-	14.4	▲ 27.5	▲ 21.2	▲ 100.0	-	-	▲ 33.3	57.9
累計前年比(%)	-	▲ 7.6	▲ 14.5	▲ 10.7	▲ 6.1	-	-	▲ 42.9	▲ 28.1

●企業倒産は東京商工リサーチ青森・八戸両支店調べ（負債総額1千万円以上）

	雇 用 状 況 (全数)					青 森 空 港 利 用 状 況 (定期便)			
	新規求人 (人)	有効求人 (人)	有効求職 (人)	就職者 (人)	有効求人 倍率(倍)	国 内 線		国 際 線	
						乗降数(人)	搭乗率(%)	乗降数(人)	搭乗率(%)
2022年 1 月	2,674	6,380	6,193	310	1.03	45,828	36.5	-	-
2 月	2,253	6,495	6,458	368	1.01	25,872	36.0	-	-
3 月	2,647	6,980	6,268	646	1.11	55,154	55.6	-	-
4 月	2,630	6,943	6,301	515	1.10	74,481	60.7	-	-
5 月	2,066	6,538	6,175	416	1.06	75,232	55.8	-	-
6 月	2,438	6,555	6,042	450	1.08	71,574	54.0	-	-
7 月	2,197	6,225	5,569	346	1.12	78,528	58.6	-	-
8 月	2,231	6,385	5,562	334	1.15	102,622	65.7	-	-
9 月	2,774	6,841	5,526	390	1.24	84,152	64.2	-	-
10 月	2,627	7,029	5,509	393	1.28	97,159	70.5	-	-
11 月	2,401	7,238	5,433	412	1.33	92,283	70.3	-	-
12 月	2,284	6,795	5,781	341	1.18	82,286	62.0	-	-
2023年 1 月	2,764	7,068	6,126	281	1.15	64,319	50.1	-	-
2 月	2,600	7,283	6,463	402	1.13	65,986	55.0	-	-
3 月	2,872	7,704	6,190	661	1.24	89,046	65.1	-	-
前年同月比(%)	8.5	10.4	▲ 1.2	2.3	-	61.4	-	-	-
累計前年比(%)	14.4	17.1	▲ 0.4	▲ 2.7	-	96.5	-	-	-

●青森空港利用状況は年次統計、青森空港管理事務所調べ

主要經濟指標

Key Economic Indicator

弘前市内主要經濟指標

	世帯数	人 口	婚姻届	手形交換高		不渡手形 (件)	取引停止 (件)	企業倒産	
	世 帯	人	合 計	枚 (千枚)	金 額 (億円)			件 数 (件)	負債額 (百万円)
2022年 1 月	80,369	166,221	156	4	31	0	0	0	0
2 月	80,269	165,956	101	4	26	0	0	1	200
3 月	80,099	164,831	139	4	27	0	0	2	121
4 月	80,583	165,192	113	3	17	0	0	0	0
5 月	80,693	165,159	117	4	29	0	0	0	0
6 月	80,663	164,993	93	4	23	0	0	1	42
7 月	80,529	164,871	116	4	16	0	0	0	0
8 月	80,597	164,725	108	4	32	0	0	0	0
9 月	80,653	164,636	77	4	21	0	0	0	0
10 月	80,729	164,588	98	4	25	0	0	0	0
11 月	80,655	164,420	130	0	3	0	0	0	0
12 月	80,632	164,243	89	2022年11月4日手形交換所廃止				2	164
2023年 1 月	80,542	163,983	—					1	50
2 月	80,393	163,680	—					3	561
3 月	80,191	162,666	—					1	786
前年同月比(%)	0.1	▲ 1.3	▲ 100.0	—	—	—	—	▲ 50.0	549.6
累計前年比(%)	3.3	▲ 1.3	▲ 32.2	—	—	—	—	60.0	97.2

●企業倒産は東京商工リサーチ青森・八戸両支店調（負債総額1千万円以上）

	住 宅 建 設				新車登録台数(台)		雇 用 状 況 (全数)			
	建築確認 (件)	着工戸数 (戸)	持ち家 (戸)	貸 家 (戸)	乗 用 車	軽自動車	新規求人 (人)	有効求人 (人)	有効求職 (人)	有効求人 倍率(倍)
2022年 1 月	28	25	14	4	211	155	1,848	4,478	4,116	1.09
2 月	35	17	10	0	266	232	1,558	4,524	4,063	1.11
3 月	76	101	29	60	365	339	2,014	4,826	3,988	1.21
4 月	71	87	49	20	196	237	1,939	4,873	4,068	1.20
5 月	62	171	41	12	177	170	1,652	4,834	4,280	1.13
6 月	70	78	55	22	182	231	2,105	5,015	4,524	1.11
7 月	59	47	42	1	228	238	1,784	4,944	4,468	1.11
8 月	49	63	36	16	194	211	1,854	5,195	4,381	1.19
9 月	70	45	31	8	278	253	2,115	5,252	4,018	1.31
10 月	58	52	34	12	264	254	1,950	5,416	3,704	1.46
11 月	64	91	50	35	270	305	1,736	5,159	3,552	1.45
12 月	33	66	32	22	222	240	1,746	4,884	3,780	1.29
2023年 1 月	32	14	13	0	248	258	1,907	4,967	4,154	1.20
2 月	31	20	18	0	265	311	1,874	5,107	4,268	1.20
3 月	58	30	11	10	547	422	1,926	5,207	4,211	1.24
前年同月比(%)	▲ 23.7	▲ 70.3	▲ 62.1	▲ 83.3	49.9	24.5	▲ 4.4	7.9	5.6	—
累計前年比(%)	▲ 2.7	9.0	▲ 5.3	▲ 13.7	12.4	19.1	7.1	9.0	▲ 1.7	—

主要経済指標

Key Economic Indicator

十和田市内主要経済指標

	世帯数	人口	婚姻届	手形交換高		金融機関預貸金		不渡手形 (件)	取引停止 (件)	企業倒産		住宅建設		
	世帯	人	合計	枚数 (千枚)	金額 (億円)	預金 (億円)	貸出金 (億円)			件数 (件)	負債額 (百万)	着工戸数 (戸)	持ち家 (戸)	貸家 (戸)
2022年 1月	27,950	59,596	59	1	13	3,204	1,285	0	0	0	0	10	6	0
2月	27,942	59,531	35	1	13	3,212	1,288	0	0	0	0	18	6	6
3月	27,911	59,201	59	1	15	3,246	1,302	0	0	0	0	26	16	10
4月	28,008	59,211	39	1	10	3,297	1,271	0	0	1	60	23	13	4
5月	28,035	59,220	51	1	13	3,299	1,278	0	0	0	0	26	18	0
6月	28,049	59,193	36	1	10	3,346	1,282	0	0	0	0	20	15	1
7月	28,056	59,183	36	1	7	3,332	1,283	0	0	0	0	17	15	0
8月	28,082	59,173	45	1	10	3,304	1,282	0	0	1	10	18	16	0
9月	28,075	59,137	26	1	9	3,300	1,309	0	0	0	0	21	13	0
10月	28,076	59,111	35	1	9	3,297	1,300	0	0	0	0	60	19	34
11月	28,067	59,067	53	0	1	-	-	0	0	1	10	70	20	46
12月	28,054	59,024	36	2022年11月4日手形交換所廃止						0	0	37	11	19
2023年 1月	28,031	58,905	37							0	0	6	4	0
2月	28,017	58,834	30							0	0	7	5	0
3月	27,991	58,555	60							0	0	18	13	2
前年同月比(%)	0.3	▲ 1.1	1.7	-	-	-	-	-	-	-	-	▲ 30.8	▲ 18.8	▲ 80.0
累計前年比(%)	0.3	▲ 1.1	▲ 16.6	-	-	-	-	-	-	200.0	▲ 20.0	9.9	▲ 19.0	135.6

●不渡手形・取引停止は法人および事業者

●企業倒産は東京商工リサーチ青森・八戸両支店調（負債総額1千万円以上）

	新車登録台数(台)		雇用状況(全数)					肥育牛市場		子牛市場(黒毛和種)			
	乗用車	軽自動車	新規求人 (人)	有効求人 (人)	有効求職 (人)	就職者 (人)	有効求人 倍率(倍)	頭数 (頭)	平均価格 (千円)	雌		去勢	
										頭数	平均価格(千円)	頭数	平均価格(千円)
2022年 1月	82	72	521	1,378	1,188	113	1.16	82	366	185	647	292	743
2月	89	83	483	1,411	1,142	88	1.23	114	336	204	640	272	752
3月	115	121	583	1,478	1,164	154	1.26	89	376	261	601	343	732
4月	120	77	427	1,354	1,145	130	1.17	95	407	230	643	373	745
5月	85	47	514	1,385	1,138	113	1.20	63	440	245	625	352	760
6月	80	110	562	1,384	1,081	116	1.28	58	477	243	575	331	680
7月	143	84	461	1,405	1,009	102	1.39	51	439	210	553	317	686
8月	85	58	527	1,470	985	117	1.49	65	439	185	562	293	683
9月	99	105	582	1,493	994	114	1.50	44	374	328	536	572	655
10月	77	78	578	1,563	991	111	1.58	23	456	-	-	-	-
11月	74	95	531	1,533	1,029	102	1.49	79	290	230	550	353	669
12月	77	83	517	1,521	1,049	75	1.45	74	235	201	547	344	651
2023年 1月	98	87	534	1,498	1,153	84	1.30	107	180	193	501	302	680
2月	138	84	597	1,595	1,228	104	1.30	58	305	238	516	333	656
3月	134	124	759	1,755	1,228	211	1.43	65	288	249	497	377	623
前年同月比(%)	16.5	2.5	30.2	18.7	5.5	37.0	-	▲ 27.0	▲ 23.4	▲ 4.6	▲ 17.3	9.9	▲ 14.9
累計前年比(%)	1.9	6.5	14.3	12.7	1.6	▲ 0.1	-	▲ 24.2	▲ 7.1	4.4	▲ 21.4	4.8	▲ 18.8

●肥育牛市場は三本木育産農業協同組合分

●青森県家畜市場(子牛)は生後6カ月齢以上12カ月齢未満の牛

●十和田市地方卸売市場は年次統計

主要経済指標

Key Economic Indicator

むつ市内主要経済指標

	世帯数	人口	手形交換高		不渡手形 (件)	取引停止 (件)	企業倒産		むつ市 公共事業予算 (億円)	新車登録台数(台)	
	世帯	人	枚 (千枚)	金額 (億円)			件数 (件)	負債額 (百万円)		乗用車	軽自動車
2022年 1 月	28,716	54,887	0	6	0	0	0	0	1.7	86	67
2 月	28,693	54,828	0	5	0	0	0	0		72	72
3 月	28,571	54,364	0	6	0	0	0	0		112	129
4 月	28,634	54,321	0	2	0	0	0	0	6.9	97	67
5 月	28,637	54,253	1	4	0	0	0	0		74	57
6 月	28,606	54,203	0	4	0	0	1	60		64	68
7 月	28,591	54,158	0	4	0	0	0	0	6.7	102	124
8 月	28,686	54,216	1	6	0	0	0	0		71	80
9 月	28,698	54,180	0	5	0	0	0	0		87	108
10 月	28,677	54,105	0	4	0	0	0	0	9.3	66	77
11 月	28,641	53,997	-	-	0	0	1	25		78	100
12 月	28,582	53,884	2022年11月4日手形交換所廃止				0	0		50	73
2023年 1 月	28,553	53,804					0	0	82	71	
2 月	28,519	53,720					0	0	103	91	
3 月	28,401	53,325	0	0	119	115					
前年同月比(%)	▲ 0.6	▲ 1.9	-	-	-	-	-	-	-	6.3	▲ 10.9
累計前年比(%)	▲ 0.5	▲ 1.8	-	-	-	-	↑	↑	-	▲ 11.0	13.8

●企業倒産は東京商工リサーチ青森・八戸両支店調（負債総額1千万円以上）

	建築確認申請件数		住宅建設			雇用状況（全数）				水揚状況			
	住宅 (件)	住宅以外 (件)	着工戸数 (戸)	持ち家 (戸)	貸家 (戸)	新規求人 (人)	有効求人 (人)	有効求職 (人)	有効求人 倍率(倍)	イカ		ホタテ	
										数量(トン)	金額(百万円)	数量(トン)	金額(百万円)
2022年 1 月	5	1	5	4	0	385	1,214	1,445	0.84	11	13	398	84
2 月	6	3	9	5	2	475	1,317	1,463	0.90	2	3	1,029	281
3 月	18	3	5	5	0	498	1,386	1,426	0.97	0	0	1,222	258
4 月	13	0	89	17	68	405	1,281	1,485	0.86	3	3	434	62
5 月	14	7	33	11	21	551	1,330	1,514	0.88	22	23	1,996	434
6 月	14	3	14	13	0	518	1,320	1,372	0.96	7	5	1,599	481
7 月	10	1	14	13	0	400	1,284	1,283	1.00	11	7	461	131
8 月	11	2	12	9	2	399	1,218	1,266	0.96	12	10	65	17
9 月	8	2	14	12	0	539	1,276	1,263	1.01	3	3	31	6
10 月	8	3	11	4	6	387	1,242	1,266	0.98	12	14	26	5
11 月	4	0	10	7	2	420	1,132	1,289	0.88	25	29	17	4
12 月	6	0	12	9	0	341	1,021	1,474	0.69	9	13	32	16
2023年 1 月	3	1	2	1	0	448	1,127	1,573	0.72	7	11	21	6
2 月	7	2	2	2	0	382	1,100	1,510	0.73	4	7	587	143
3 月	0	1	7	5	0	420	1,123	1,378	0.81	4	6	740	200
前年同月比(%)	▲100.0	▲66.7	40.0	0.0	-	▲15.7	▲19.0	▲3.4	-	↑	↑	▲39.5	▲22.5
累計前年比(%)	▲30.0	▲26.7	42.9	▲11.2	800.0	5.3	5.6	7.8	-	▲15.0	▲10.3	▲12.1	2.2

●水揚状況：数量・金額は年次統計



「大学院で学んでみませんか!」

青森県立保健大学大学院には、博士前期課程 41 名、博士後期課程 25 名の計 66 名が在籍しており、その多くが保健医療福祉の専門職として働きながら大学院で学んでいます。

今回は、その中から 2 名の大学院生に大学院進学の間経緯や大学院での様子について紹介していただきます。

私は 2 年前に同大学の学部を卒業し、卒業後大学院に進学しました。学部生の頃から地域の高齢者を支えたいという思いがあり、大学院に通うことでよりその力を身につけられるのではないかと思い進学を決めました。

仕事をしながら大学院に通うことは大変ですが、保健大学には働きながらも学べる環境が整っています。職場の方にも様々な面で支えられ、昨年 1 年間、職場と大学院に通う生活を乗り越えることができました。実際に、現在は大学院での学びを仕事に活かしたり、仕事で感じたことを大学院での研究に繋げたりすることができ、就職と進学を同時に選択して良かったと感じています。

皆さんも、青森県立保健大学の大学院で保健・医療・福祉の現場で感じる疑問を研究に繋げてみませんか？

博士前期課程 2 年・理学療法士（介護老人保健施設勤務）

私は内科で主に生活習慣病の方への療養支援を行っております。患者様を取り巻く環境の多様化などにより課題も多く、解決するには疫学や統計学を改めて学び、現状を把握し正しく評価する力を養うことが必要と感じたため、大学院進学を目指しました。

進学後は、従来通り働きながら通学し特別研究（修士論文）にも時間を



対面とオンラインから参加できるハイブリッド授業の様子

かけたいと考え、長期在学コース（3 年間）を選択しました。講義は平日の夜間や土日祝日などに受講し、登校が難しい場合はオンラインで受講するなど、計画的に履修することができています。また、講義中や研究室では多職種の学生による意見交換が活発に行われ、様々な視点で課題に取り組むことができるため、学ぶことが楽しく充実した時間となっています。今後も自らの探求心を大切に、互いに高めながら社会に還元していきたいと考えています。

博士前期課程 2 年・管理栄養士（診療所勤務）

「本学大学院における社会人への配慮」

<https://www.auhw.ac.jp/daigakuin/curriculum/hairyo.html>



お問い合わせ | 青森県立保健大学 教務学生課 TEL 017-765-2008

Email : a_imano@auhw.ac.jp ホームページ : <https://www.auhw.ac.jp/>

地元の 名産・商品 製品・技術

紹介コーナー

本店営業部からの紹介

苔玉

八戸市の老舗料亭「割烹萬鱗」がプロデュースする和をコンセプトとした創作スイーツのお店です。お庭を眺められる静かなイトインスペースもあり、その場で入れた本格的な抹茶と共に様々な和スイーツを楽しむことができます。当店の人気商品は栗の落ちた苔をイメージした抹茶のムース『苔玉』です。ぜひ一度ご賞味ください。

時空

〒031-0081 八戸市柏崎1丁目1-41
TEL 0178-24-1025 FAX 0178-24-1035
URL https://www.instagram.com/jiku_banrin/



定休日：日・月曜日
営業時間：10:30～16:30

湊支店からの紹介

雪中果

八戸市小中野にある、創業90年のお菓子屋さんです。昨年から販売を始めた『雪中果』は、第9回東北みやげコンテスト優秀賞に輝きました。赤いりんごをあしらった缶のフタをあけると、中には雪のような白い粉に埋められたりんご味のマシュマロが入っています。探しながら食べた後は、小物入れとしても活用できます。

お菓子処 丸美屋

〒031-0802 八戸市小中野8丁目8-35
TEL 0178-22-6105 FAX 0178-47-3553
URL <http://www.marumiya.jp/> E-mail maru@marumiya.jp



価格：1,000円(税込)
定休日：毎週火曜日
営業時間：9:00～17:00

十和田営業部からの紹介

十和田産蕎麦粉「にじゆたか」を使用したざるそば

3月末にオープンしたお店です。地元農家島山さんが作る十和田産蕎麦粉「にじゆたか」使用。地場で育てられた農産物を地元のお母さんたちが心を込めて調理し、皆様にお届けいたします。

定番のざるそばや季節の一品が、お手頃価格でお楽しみいただけます。夜の部では、手間暇惜しまぬ匠の技が光るお料理をご堪能ください。最大20名収容の個室もご用意しております。

そば処・MODERN 会席 吉次郎 〒034-0083 十和田市西三番町1-24
TEL ■そば処吉次郎 0176-66-7800
■MODERN会席吉次郎 090-9749-6155
URL <https://shinwashoji.net/business/restaurant/>



■そば処吉次郎
営業時間：11:00～15:00
定休日：月曜日
■MODERN 会席吉次郎
営業時間：17:00～22:00
定休日：日曜日・月曜日

浪岡支店からの紹介

ガチリン

添加物無し・無加水・リンゴ果汁100%の「ガチリン」は、焼酎や日本酒の「リンゴ果汁割り」として楽しんでいただけます。優しい甘さとまるやかさを引き立たせる「ふじ」は日本酒にピッタリ。豊潤な香りとキリッと爽やかな酸味が特徴の「紅玉」はサワー系との相性が抜群です。新鮮で美味しいもぎたてのりんごの配送も行っていますので、是非一度ご賞味ください。

鹿内農園

〒038-1342 青森市浪岡樽沢村元 281-1

TEL 090-9032-7533 FAX 0172-62-4810

URL <https://shikanai-farm.com> E-mail shikanai.nouen.apple@gmail.com



価格：1,080円（税込/1本・1000ml）

定休日：日・祝 営業時間：8:00～18:00

黒石支店からの紹介

むらかつ 特選オードブル

やわらかとんかつが、ぎっしりボリューム満点！
大人気かつサンド付きのスペシャルセットもあります。
むらかつのありったけがぎっしり詰まったオードブルです。
一度注文したら、やめられません！

やわらかとんかつ むらかつ

〒036-0345 黒石市中川篠村 14-1

TEL 070-4233-2356



価格：4,500円（税込）

定休日：不定休

営業時間：11:30～14:00 17:30～20:00

八重田支店からの紹介

青森県内外の日本酒

当店では青森の地酒を中心に、店主自らが味わい心揺さぶられた全国各地の日本酒を取り扱っています。全ての銘柄が蔵元直接取引ですので、他には無い日本酒が目白押し。日本酒初心者の方大歓迎！イメージを伝えるとピッタリの1本をお勧めしていただけます。

つじむら酒店

〒030-0811 青森市青柳1丁目 15番 9号

TEL 017-763-0288

URL <https://www.sake-tsujiimura.com>



定休日：月曜日

営業時間：平日・土曜 10:00～19:00

日曜・祝日 10:00～18:00

大間支店からの紹介

ウニ・まぐろ丼

大間のウニ漁は3月～6月までの僅か3ヶ月間。
薬品不使用・無添加の生ウニを、大間のまぐろと一緒に味わえる丼で、“大満足”してください！

魚喰いの大間んぞく

〒039-4601 下北郡大間町大字大間字大間平 17-377

TEL 0175-37-5633

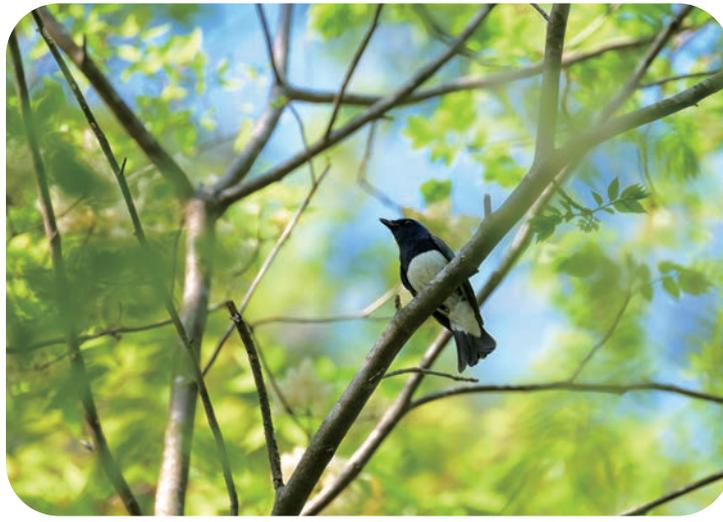


価格：3,300円（税込）

定休日：不定休

営業時間：4月～12月…8:00～18:00

1月～3月…9:00～16:00



八戸市 南郷



青森市 八甲田



十和田市 焼山



むつ市 脇野沢

青い森しんきん「とれんど情報 No.485」

発行日／2023年5月20日

編集・発行者／青い森信用金庫 地域支援室

住所／〒031-0086 八戸市大字八日町18

TEL 0178-38-8863 FAX 0178-38-8861

<http://www.aomorishinkin.co.jp/>

製作・印刷／赤間印刷工業(株)

表裏写真提供／小野 昭仁 氏